

協創経営プログラム インターンシップの概要

協創経営プログラムでは、1 年次から 4 年次まで¹⁾の全ての学年が企業等でのインターンシップを必修科目として履修します。即ち、学内での机上学習と実際の実務体験を何度も行き来することで、学生自らが常に自らの学習に対するリフレクション（ふり返し）を行い、知識と実務的なスキルを効果的に修得することを目指します。対象となる業種は問いません。製造業だけでなく、小売り、金融、サービス業など、全てのシゴトを通じた学生の人材育成にご協力をお願いしております。

新潟大学では 1 年間で 4 つのタームに分けるクォーター制を導入しております。令和 3 年度の各ターム期間は以下のとおりです。

- 第 1 ターム： 4 月 8 日(木)～ 6 月 8 日(火)
- 第 2 ターム： 6 月 10 日(木)～ 8 月 6 日(金)
- 第 3 ターム： 10 月 4 日(月)～11 月 30 日(火)
- 第 4 ターム： 12 月 2 日(木)～令和 4 年 2 月 10 日(木)

インターンシップ実施の全体像を下表ならびに下図にまとめます。

科目名称	開講年次	学外実習期間		特徴と目標
キャリアデザイン・インターンシップⅠ※	1 年次 第 2 ターム	2 週×1 回		体験型（従来型）。企業体験を通して社会との接点をとらえ、社会人として求められるチカラについて考察する。かつ、今後の学習目標・目的の明確化を通じ、学習意欲の向上を図る。
キャリアデザイン・インターンシップⅡ	2 年次 第 2 ターム	2 週×2 回		短期間ずつながら多くの企業等の現場を体験することで、複眼的な視点から各組織が抱える種々の課題を探索・発見するチカラを養います。課題解決インターンシップの実施と連携し、3・4 年次学生とのノウハウ共有等を図ります。
課題解決インターンシップⅠ	3 年次 第 4 ターム	6 週		PBL ²⁾ 型インターンシップの導的的位置付け。企業等での実習を通じて現場や社会に存在する課題を複数の視点から観察、分析し、4 年次学生の指導を受けながら具体的な課題の明確化に取り組みます。
課題解決インターンシップⅡ	4 年次 第 3 ターム	6 週	計 12 週	企業等の課題解決・提案を目的とした PBL 型インターンシップ。院生を含む多学年構成チームにより構成。特に後半では 3 年次学生の指導（牽引）役を務めつつ、チームワーク力、コミュニケーション力、リーダーシップ力等を含めた総合的「工学力」の習得を目標とする。
課題解決インターンシップⅢ	4 年次 第 4 ターム	6 週		

※1 年次に行う「キャリアデザイン・インターンシップは」「人間支援感性科学プログラム（定員 55 名）」と合わせた「融合領域分野（定員 85 名）」の学生が対象です。

¹⁾ 修士課程 2 年間を加えて 6 年間の一貫教育プログラムの実施を予定しています。

²⁾ Project based learning または Problem based learning の意。何らかの課題を設定（発見）し、机上学習により得られた知識や経験をその課題解決策の探索、提案に適用することで、主体的な学びの場を実現します。

研修受け入れにあたってのポイント

詳細は次ページ以降をご覧ください。

1年生、2年生とも、本インターンシップではできるだけ現実の仕事を体験できるようご配慮下さい。
企業様の業種、業態、研修で体験する職種等に制限はありません。
研修プログラムとしては次のような例が考えられます。

- ◆ 経営者又は担当者から会社説明や企業理念の講話
- ◆ 現場で作業体験（各部門を回る）
- ◆ 設計や計測などの体験
- ◆ 実際の社内会議・QCサークルなどに参加
- ◆ 得意先など営業や展示会に同行
- ◆ これらを適宜組み合わせる

これらの作業や業務が、企業等組織あるいは地域社会において「**どのような意味を持つのか**」を学生が理解できるようご指導下さい。

参考のため、本インターンシップを行うことで、学生が獲得すべき能力、知識の目標を以下に示します。
研修の計画立案、ご指導の際には念頭に置いて頂ければ幸いです。

1年生の到達目標

- 1) キャリア意識を早くから持つことの重要性を認識できる。
- 2) 工学とは「実学」であり、実社会（企業等）で活用されている学問分野であることが理解できる。
- 3) 実社会では特定の分野の知識だけではなく、様々な分野の知識が必要であることを認識できる。
- 4) 企業や組織は単独でその活動を完結させることはできず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）との協調、競争の中で成り立っていることを理解できる。
- 5) 実社会では知識だけでなく、コミュニケーション能力、リーダーシップなど様々な素養を身につけることが必要であることを認識し、自身の行動に反映できる。

2年生の到達目標

- 1) 現在学習中、または学習予定である工学部専門科目と、企業等活動との間の具体的な関連性を理解する。
- 2) 社会における工学および他の学問分野の具体的な相互の関連性に気付く。
- 3) 各企業等における何らかの経営課題に気付き、その課題解決のために必要な知識や技術等が何であるかを理解する。
- 4) 複数企業（組織）の比較を通じて、企業の多様性・組織管理の多様性を理解する。
- 5) 上記4点の到達目標を通じて、自らのキャリアデザインに必要な視点及び軸を築く

※ 2年生であっても、工学の専門科目はまだほとんど学習していません。本インターンシップ終了後、その後に学ぶ工学専門領域を選択します。

1年生向け、2年生向けとも、研修期間、回数が従来から変更（縮小）されています。次項の実施スケジュール案をご覧ください。ホームページに掲載している説明図は2020年度までの情報ですので、受け入れを検討される際にはご注意ください。

2021年度1～2年生向けインターンシップ実施計画案（2020年12月14日現在）

キャリアデザイン・インターンシップⅠ 1年生						キャリアデザイン・インターンシップⅡ 2年生					
曜日		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
月/日		6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11
第1週	1限					安全教育					
	2限				概要説明	安全教育					
	3限				マナー研修	図書館活用法					
	4限				PC研修	図書館活用法					
	5限										
		6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18
第2週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25
第3週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2
第4週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9
第5週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16
第6週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23
第7週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30
第8週	1限										
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6
		ターム末試験					ターム末試験				

新型コロナウイルスの影響を考慮し、

当初計画から一部変更しました。

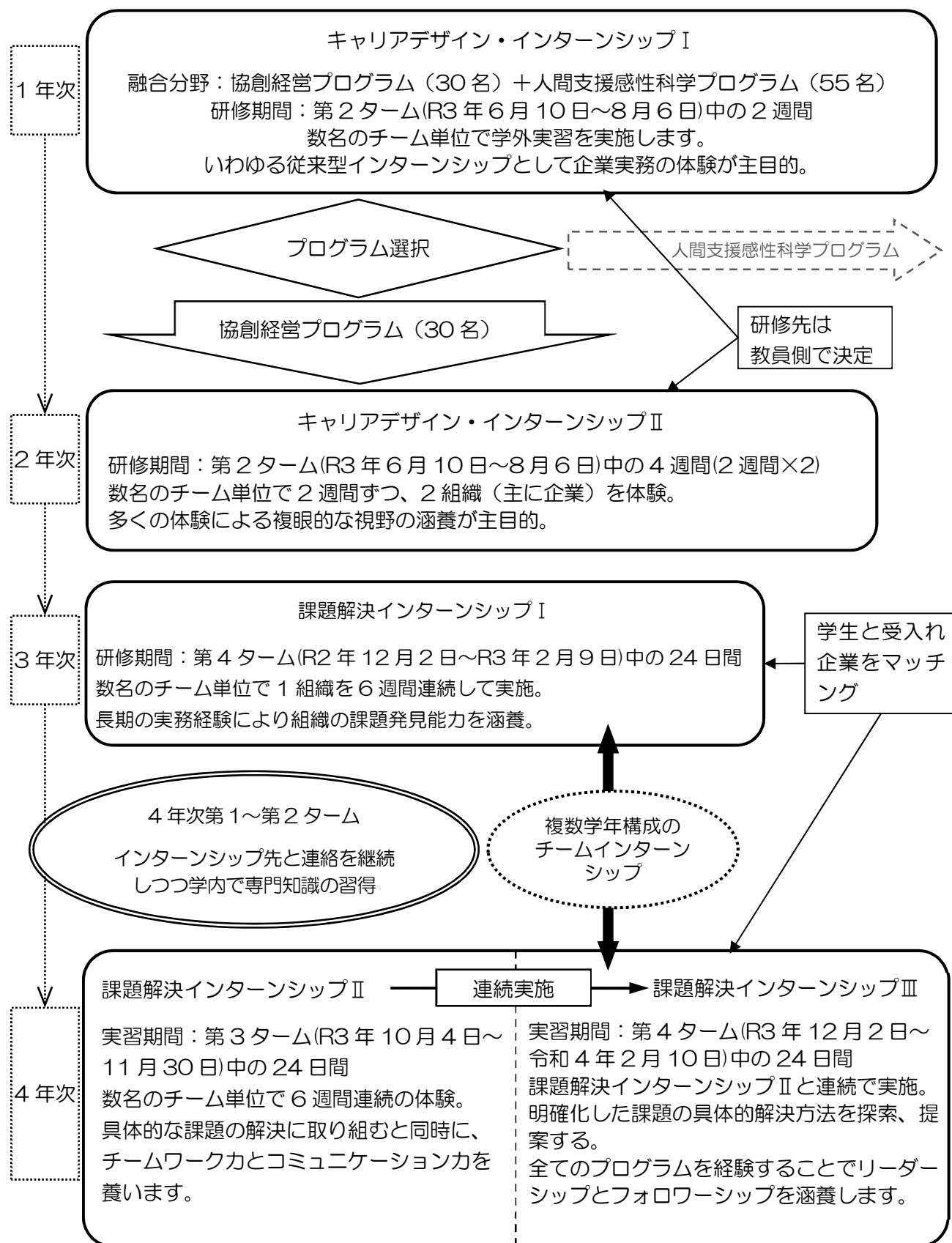
次ページをご覧ください。

2021年度1～2年生向けインターンシップ実施計画案（2021年3月8日現在）

キャリアデザイン・インターンシップⅠ						1年生					
曜日		月	火	水	木	金					
月/日		6/7	6/8	6/9	6/10	6/11					
第1週	1限					安全教育 (工101)					
	2限				概要説明 (総 B 355)	安全教育 (工101)					
	3限				マナー研修 (総 B 355)	図書館活用法 (工101)					
	4限				PC研修 (総 B 355)	図書館活用法 (工101)					
	5限										
		6/14	6/15	6/16	6/17	6/18					
第2週	1限										
	2限										
	3限		福祉関係事前学習 (外部講師3名) (総 B 355)	福祉関係事前学習 (外部講師3名) (総 B 355)	企業講演1 (総 B 355)	企業講演3 (工101)					
	4限				企業講演2 (総 B 355)	企業講演4 (工101)					
	5限		17:00～19:00 懇談会(第3食堂)								
		6/21	6/22	6/23	6/24	6/25					
第3週	1限										
	2限										
	3限		企業見学会 バスツアー	事前調査 グループワーク	事前調査 グループワーク	事前調査発表会 (工101)					
	4限										
	5限										
		6/28	6/29	6/30	7/1	7/2					
第4週	1限		学外研修第1週目（前半グループ）								
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		7/5	7/6	7/7	7/8	7/9					
第5週	1限		学外研修第2週目（後半グループ）								
	2限										
	3限										
	4限										
	5限										
		7/12	7/13	7/14	7/15	7/16					
第6週	1限										
	2限										
	3限		グループワーク	グループワーク	グループワーク	グループワーク					
	4限										
	5限										
		7/19	7/20	7/21	7/22	7/23					
第7週	1限										
	2限										
	3限		成果報告会 (総 B 355)	予備日							
	4限										
	5限										
		7/26	7/27	7/28	7/29	7/30					
第8週	1限										
	2限										
	3限		予備日	予備日	予備日	予備日					
	4限										
	5限										

2年生				
月	火	水	木	金
6/7	6/8	6/9	6/10	6/11
6/14	6/15	6/16	6/17	6/18
	企業1－1週目			
6/21	6/22	6/23	6/24	6/25
	企業1－2週目			
6/28	6/29	6/30	7/1	7/2
	グループワーク	グループワーク	グループワーク	グループワーク
7/5	7/6	7/7	7/8	7/9
	グループワーク	成果報告会	グループワーク	グループワーク
7/12	7/13	7/14	7/15	7/16
	企業2－1週目			
7/19	7/20	7/21	7/22	7/23
企業2－2週目				
7/26	7/27	7/28	7/29	7/30
	グループワーク	グループワーク	グループワーク	成果報告会 (or 8/4)

インターンシップの全体イメージ



※日付は 2020 年 12 月時点での予定ですので、事情により若干の変動があり得ます。

■キャリアデザイン・インターンシップⅠ（工学部融合領域分野の85名が対象です）

《基本構成・コンセプト》

- ✓ 社会や企業、組織の実際を早期に体験し、身をもって知る
 - 大学に入学して専門分野を学ぶ前に企業等の実際に触れ、体験し、知ることで、将来のキャリアについて考察する機会とします。
 - 自身のキャリアを考えることで、大学における科目履修の意味を理解し、学習意欲の向上を図ります。
 - 学生は企業等または福祉関連施設の1組織で2週間の研修を行います。
 - 企業等においては1回につき2名以上のお受入れをご検討下さい。（実際の受入れが1名になることもあります。）
- ✓ 学生は融合分野（協創経営プログラム、人間支援感性科学プログラム）の85名です。
 - 体験型インターンシップとして、企業の実務を体験できるようご配慮下さい。内容は企業の事情に合わせてアレンジしていただいて結構です。

■キャリアデザイン・インターンシップⅡ（協創経営プログラム2年生30名の学生が対象です）

《基本構成・コンセプト》

- ✓ 複数の分野、業種、職種の体験を経ることで、複眼的な視野を涵養します。
 - 学生は2週間（4日以上／週）を1回の実習期間として、計2回（2か所）の実習を行います。
 - 企業等においては同じ内容で1～2回の実習をお受け入れ下さいますようお願いいたします。また、1回につき2名以上のお受入れをご検討下さい。（実際の受入れが1名になることもあります。）
 - 一つの物事であっても、それに関連する複数のプロセスやステークホルダーの実際を体験することで、様々なものの見方があることを学びます。
 - 複眼的な視野を涵養することで、物事の裏側にある潜在的な課題を発見するチカラを養うことを目指します。
 - 短期間の研修を複数回繰り返す「プレッシャー」の中で、一定の成果を達成するチカラを身につけます。
 - 後述の課題解決インターンシップⅠと可能な限り連携することで、課題を発見するチカラを養いつつ、次年度の研修遂行が円滑に進むことを期待します。

■課題解決インターンシップⅠ（協創経営プログラム3年生の学生が対象です）

《基本構成・コンセプト》

- ✓ 企業等における具体的な課題を発見し、座学で学ぶ論理的な思考方法や表現方法を適用することで、課題の明確化を図ります。
 - 1企業（1組織）で約6週間の業務を連続して体験します。
 - 企業等のご担当者様らと共同で業務に取り組みながら、業務遂行上の課題発見に努めます。
 - 発見した課題を論理的に考察し、例えばQFD（quality-function deployment：品質機能展開）等の手法を通じて課題解決を行えるように具体化します。
- ✓ 4年次学生との共同体制のもと、チームワーク力とコミュニケーションスキルを身につけます。
 - 「友達」とは異なる複数年次学生によるチームワークを経験し、リーダーシップ、フォロワーシップ、コミュニケーションスキル等を総合的に養います。
 - 先輩の「指導」と協力を仰ぎ、効果的な研修遂行を図ります。
- ✓ 1チームの構成は、4年次の課題解決インターンシップⅡの履修学生を含めて、2～4名程度を想定します。
 - 企業様等におかれましては、課題解決インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲを一つのまとまりとしてお

受け入れ下さいますようお願いいたします。

■課題解決インターンシップⅡ・Ⅲ（協創経営プログラム4年生の学生が対象です）

《基本構成・コンセプト》

- ✓ 4年次の前半、約半年を期間に充てることで、課題発見・対策の立案・解決といった一連のサイクルを、企業等の担当者様らとの共同により実施します。
 - 座学で学んだ知識を、常識にとらわれない若者のセンスとともに実践に活かせる機会と場としてのインターンシップ実現を目指します。
 - 企業等の現場における「答えの無い課題」解決を目指します。
 - 基本的に実習の場は企業等を想定しますが、文献調査、測定、分析等、大学や公設試験場の活用が適切な場合には、企業等の外部での実習を適時盛り込んで頂いても構いません。
- ✓ 期間の後半（第4ターム）は、3年次学生の課題解決インターンシップⅠと同時に実施します。
 - 第3タームは4年次学生のためのチームでインターンシップに従事し、第4タームは3年次と4年次学生の複数年次学生が1チームとなり体制となります。
 - 4年次学生が3年次学生の指導者的役割を果たすことを期待しています。
 - 課題解決インターンシップⅡとⅢは経時的に連続実施ではありますが、学内学習や成果発表会、予習、復習の機会のための期間を若干設けさせて頂く必要があることをご了解下さい。即ち、各タームの第1週と第8週などは、学内学習期間としてご配慮下さいますようお願いいたします。（ご事情、ご要望に応じて可能な範囲で調整が可能です。）

■その他の留意事項など

インターンシップのお受け入れにあたり、共通してご留意頂きたい事項をまとめます。これらをご考慮頂きながら、何卒ご理解とご協力を下さいますようお願いいたします。

- ✓ 企業等への学生の就職に、かならずしも直結するものではありません。
本インターンシップは学生の教育を目的に実施するため、受け入れた学生がその企業に就職することを必須とはしていません。学生らにお声がけ下さることは構いませんが、この点については十分にご理解下さい。
- ✓ 受け入れのご了承をいただいた企業が、必ず毎年度、学生の実習先となるわけではありません。インターンシップの受け入れをご了承頂いたとしても、学生らの「通勤」や種々の事情により、必ず実習先となるわけではないことをご理解下さい。
- ✓ 企業等の皆様にとってのメリットとは・・・
インターンシップをお引き受け頂くことにより、企業様らにとっては以下のようなメリットが考えられます。
 - 低年次から学生が企業の存在を知ること、将来の就職の選択肢となることが考えられます。
 - 学生同士の口コミにより、研修した当人以外の学生に対する認知度向上が期待されます。
 - 長期的には、Uターン就職の可能性が高まることが期待されます。
 - 若い学生を指導することで、自社の新入社員研修などにフィードバックできます。
 - 特に若手従業員が自分自身の仕事を見つめ直し、就業意欲が向上することが期待できます。
 - 学生から新鮮かつ多様な視点や考え方を引き出すことで、新規事業の開発や既存事業の改善などに、予想しえない好影響が発生することが期待されます。

✓ 課題解決インターンシップについて

- インターンシップの実施にあたり、本学教員と企業等の皆様とでテーマ内容や研修日等を事前に相談・調整可能な期間を設けます。
 - 学生は社員の一人としてお考え下さい。勤務に要する通勤費や宿泊費に対して、可能な限り受入れ機関でのご負担をご検討下さい。（賃金は不要）企業設備の破損などにつきましては、御社社員と同等の扱いをお願いします。
 - 研修終了後、勤務状況、態度等についてのアンケートへのご協力をお願いいたします。
 - 得られた成果については、企業でご活用いただけます。
 - ◇ 十分な期間にじっくりと実習に取り組むことができます。従って、普段はなかなか着手が困難な企業内の課題に対し、企業様のご担当者らのご指導の下で学生と取り組むことが出来ます。
 - ◇ 指導担当教員が各研修生に就きますので、教員の知識も活用可能です。
 - インターンシップをきっかけに、産学共同事業や共同研究プロジェクトに発展させることも可能です。
-